

編集委員の選考会にて、来年（第 58 巻）の OT ジャーナル表紙に選ばれた作品です。



1月号「ぐるぐるネコ」 丸茂 奈歩 (アーティスト名: 丸)

ネコがぐるぐる回ったら楽しいと思い描いてみました。飼っているネコのちびちゃん、スリムで体が長いので思い切ってさらに伸ばしてみました (丸)。

人とのコミュニケーションが苦手です。いつも自宅でアート活動をしています。本人の自信にもつながり世界が広がります。感謝致します (母)。



2月号「白川郷」 細矢 清二

この絵は黒のインクを使用し、点と線のみで描いた点描画です。週に1日の作業で2カ月ぐらいかけて描きました。私に絵の基礎を教えてくれた人やデイケアに誘ってくれた職員の方、創作で点描画を教えていただいた先生や他の職員の方々、弟妹にも感謝にたえません。今は退院し週4日仕事し、デイケアで週1日の創作活動を続けています。



3月号「楽しい動物園」 杉山 知子

就労継続支援B型事業を利用し、一般企業で職員と共に毎日楽しそうに働き、まじめで世話焼きな知的に障がいのある彼女。「本になることを楽しみにしています。たくさん色を使って塗りました。これからもいろんな色を使って塗りたいと思います。私は動物が大好きです」とコメントをいただきました (OT: 遠藤和啓)



4月号「百花繚乱」 山田 進

5年前、脳梗塞で右半身麻痺になり、絵はもうやめようと思っていました。作業療法の先生に「リハビリだと思って左手で描いてみよう」と勧められ、描いてみたところ、「これはすごい」とほめてくれたので、やる気になりました。絵の先生には水彩絵の具やクレヨンを使うことを教わりました。リハビリの先生と絵の先生に感謝しています。



5月「夢の犬」 早坂 満人

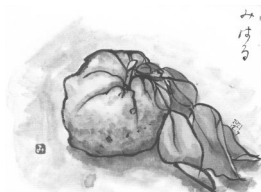
2002年に息子は交通事故によりICUで4カ月半眠り続けた後、奇跡的に目を開けました。高次脳機能障害で失語症。言葉の発生や文字化はできません。愛犬たちは、いつもどんなときも変わらないで見守ってくれている応援団で、突然重度障害を負って生きることになった息子にとって、かけがえのない大切な存在なのだと思います。(父)



6月号「かえるのがっしょう」 橋爪 莉乃

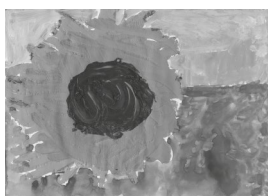
娘が小学校4年生のときに放課後デイサービスで描いた作品です。絵柄は本人が決め、難しかったそうですが1日で仕上げたようです。先天性両上肢欠損と自閉スペクトラム症があります。いつの間にかこんなに上手に描けるようになっていて驚きました。これからも本人の可能性を信じ、いろいろなことに挑戦して欲しいと思います。(母)

次年も募集致します。どうぞ、奮ってご応募ください。（詳細は次頁をご覧ください）



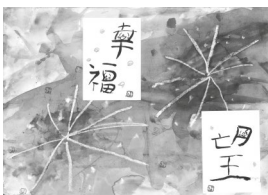
7月号「柚子」 坂田 みはる

重度の運動麻痺（右被殻放線冠梗塞後遺症）で自宅生活。季節は巡って、いつも分けさせていただくご近所の庭先の柚子は今年もウチにやってきました。私の左手足は二度と動くことなく月日を経ていきますが、柚子は毎年実をつけ色づきます。今年も来てくれた柚子がいとおいしく、描いてみました。



8月号「ひまわり」 谷口 孔介

絵を描くことは苦手でしたが、“ぬりえ”の活動で、はみ出さずに塗れるようになったり、色を意識して選ぶようになったりと興味が出てきました。今回採用されたことで自信をもち、他の活動にチャレンジする意欲にもつながっていると思います。これからも楽しみながら、たくさんのかたちを経験し、豊かな日々を過ごしてほしいです。（母）



9月号「あの日見た花火」 原 みさと

この絵は、以前見た花火をクレヨンで描き、その後から水性絵の具で背景を黒と青で描きました。「幸福」という文字と「望」という文字をなぜのせたかという、この絵を見た人が「幸福」と「望」をもってほしい、そんな願いを込めて制作しました。



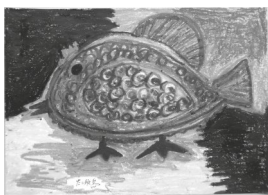
10月号「ジャック・オー・ランタン」 子ども療育センター 笠岡学園の子どもたち・職員一同

笠岡学園の秋まつり「学園マルシェ」に飾ったジャック・オー・ランタン。子どもたちや職員が制作活動で思い思いに顔を描いた折紙のジャック・オー・ランタンが集まってできています。個性豊かな子どもたちと職員がもつ強みや得意なこと、笑顔やパワーが合わさることで起こる化学反応に驚いたり、感動したり大笑いする毎日です。



11月号「すすめの落ち穂ひろい」 神田 勝巳, I.K.

海辺を散歩していて、貝殻がたくさん落ちているのを見つけました。ダイアモンド工具の仕事をしていたので、この貝で貝細工をつくることを思いつきました。つくっていて楽しいのは、貝の形に合わせていろいろな動物をつくっていくところです。完成したときには、とてもうれしいです。次回は、ダックスフンドをつくりたいです。



12月「たい焼き鳥」 山口 辰夫

僕は「たい焼き」が大好き。たい焼きを食べれたらとても幸せ。絵を描いていたら「このたい焼きが広い広い大空で飛ぶことができれば、もっと楽しいだろうな」と思いました。「美味しくて、楽しい！」。僕の「こころ」は無限に大きくなる！ 何でもできる！ みんなに伝わるといいな！